

## 令和元年度「地域活性化推進研究プロジェクト」成果報告書

|                   |                                |       |                             |
|-------------------|--------------------------------|-------|-----------------------------|
| 所属部局名             | 経済学部                           | 申請者氏名 | 金川 めぐみ                      |
| 研究プロジェクト名         | 教育と福祉の融合による少子過疎地域を主体とした実践型人材育成 |       |                             |
| 当初計画に対する<br>目標達成率 | 80                             | %     | 研究プロジェクト<br>の終了時期<br>令和2年3月 |
| 予算配分総額            | 1,000,000                      | 円     | 経費使用総額<br>円(担当課で記入)         |

## 【研究プロジェクト事業の成果】

本プロジェクトは、「教育と福祉の融合による少子過疎地域を主体とした実践型人材育成」として、和歌山県串本町において事業を行ったものである。本プロジェクトは、金川担当の福祉機関と連携した実践型福祉人材育成の部門と、村田担当の教育機関と連携した実践型人材育成の部門の2種類からなる。

前者であるが、本年度は串本町社会福祉協議会と連携し、社会福祉協議会職員の研修体制を強化し、地域で活躍できる福祉人材の育成に努めることとした。期間中に4回の研修を実施しており、第1回目は岩出市社会福祉協議会で地域福祉を担当とする湯浅敦之氏に、地域福祉の概念や岩出市での住民と協働した実践事例についての研修を実施した。第2回目は金川が担当し、地域福祉の近年の動向および串本町の地域福祉での留意点を、職員との相互対話を通じて深めることとした。その他2名の研修講師の研修内容を実施し、これら全4回の研修実施を通じて、串本町における福祉人材の育成とレベルアップが図られることとなった。

後者であるが、本年度は串本古座高校のCGS (Community general support) 部の活動と連携しつつ、串本古座高校の高校生有志の中から、地域まちづくりに関する研究を社会人と共に対話しながら行うことで、地域の課題点を深く考える人材育成に取り組むこととした。社会人との対話においては、和歌山県で本年度から行っているマナビイスト支援セミナーの場とも連携し、高校生の地域に対する愛着と課題解決の積極的な提言を行う学びを引き出すことが可能となった。また、2020年2月15日に実施したマナビイスト支援セミナー紀南の部を串本古座高校で実施し、その場において本プロジェクトの成果報告とパネルディスカッションを行い、前者と後者の活動内容に対してさらに学びを深める機会が可能となった。

## 【当初計画段階との対比】

2020年3月6日にKOKO塾報告会の場を活用し、本プロジェクトの成果公表と紀北地域における成果報告と関連するシンポジウムを実施する予定であった。しかしながら、新型コロナウイルスの影響により、上記シンポジウムが中止になった。当該予算の分を繰越し、本シンポジウムは2020年度に再度実施する予定であるため、その点を勘案して、目標達成率は80%とした。

## 【今後の展望等】

## ○ 研究プロジェクトの発展性（根拠に基づき記入）

本プロジェクトにより、金川担当の少子過疎地域における福祉人材の育成に関しては、串本町社会福祉協議会と連携して、特に高齢者福祉の人材育成に焦点を当て、串本町地域包括支援センターとも連携しつつ、積極的に進めていく体制づくりが可能となった。また、村田担当の少子過疎地域における生涯学習を通じた人材育成に関しては、串本古座高校のCGS（Community general support）部の活動とも連携しつつ、特に高校生と社会人の連携した学びによる人材育成を今年度も行う予定である。

## ○ 外部資金等への申請実績及び今後の予定

今後、積極的に地域・まちづくり関連、または教育・福祉関連の外部資金への申請を実施する予定である。また他の研究協力者の協力も得ながら、文部科学省科学研究費への申請も行っていく予定である。

## ○ 学内における成果の活用（予定も含む）

本研究における人材育成の成果を、和歌山大学紀伊半島共創基幹において共有し、他のプロジェクトとの連携深化が可能かどうかを検討していく。また金川は、経済学部内の学内紀要において、本年度の福祉人材育成の成果を公表し、経済学部内の地域関連の教員と連携しつつ、さらなる成果の活用が可能かを検討していく。

## ○ 学外における成果の活用（予定も含む）

本研究における人材育成の成果を、金川は自身が所属する「日本地域福祉学会」で報告し、広く成果を公表していきたいと考えている。また村田においても所属する学会で報告し、広く成果活用を行っていく予定である。

## ○ その他特筆すべき事項

## 【成果の外部公表の方法及び時期】

上述した通り、2020年3月6日のシンポジウムが中止となったため、その再実施を本年度に予定している。それまでの成果は随時公表していくが、本シンポジウムの実施後すみやかに、事業内容における冊子を作成し、それを公表する形で成果公表を行う。

※研究プロジェクトの内容・成果等がわかるポンチ絵（写真・挿絵など）や関係資料を添付してください。

経費等使用調査

| 配分額      | 円   |    | 支出額    | 円      |     | 残額 | 円      |        |
|----------|-----|----|--------|--------|-----|----|--------|--------|
| 経費別内訳対比表 |     |    |        |        |     |    |        |        |
| 区 分      | 配分額 |    |        |        | 支出額 |    |        |        |
|          | 内容  | 員数 | 単価 (円) | 金額 (円) | 内容  | 員数 | 単価 (円) | 金額 (円) |
| 人件費      |     |    |        |        |     |    |        |        |
|          |     |    |        |        |     |    |        |        |
|          |     |    |        |        |     |    |        |        |
|          | 計   |    |        |        |     |    |        |        |
| 備品費      |     |    |        |        |     |    |        |        |
|          |     |    |        |        |     |    |        |        |
|          |     |    |        |        |     |    |        |        |
|          | 計   |    |        |        |     |    |        |        |
| 運営費      |     |    |        |        |     |    |        |        |
|          |     |    |        |        |     |    |        |        |
|          |     |    |        |        |     |    |        |        |
|          |     |    |        |        |     |    |        |        |
|          |     |    |        |        |     |    |        |        |
|          |     |    |        |        |     |    |        |        |
|          |     |    |        |        |     |    |        |        |
|          |     |    |        |        |     |    |        |        |
|          | 計   |    |        |        |     |    |        |        |
| 合 計      |     |    |        |        |     |    |        |        |